

進化する写実絵画を一堂に

本展は、主要作家がホキ美術館のために描いた最新作約20点と、新規収蔵品など計60点で構成いたします。野田弘志「崇高なるもの」シリーズとして、詩人谷川俊太郎と保木将夫を描いた大作をはじめ、森本草介の裸婦、西洋人モデルを描く島村信之、塩谷亮、風景画では、エジンバラ在住の原雅幸、ヨーロッパの風景を描く羽田裕、気仙沼の浜を描く安彦文平、伝統的なヨーロッパの静物画を描く青木敏郎など、作家が自由な発想で描いた、渾身の写実作品ばかりです。写実絵画専門美術館の開館から2年、高まる写実人気を受けて、さらに実力を高めた作家たちの、進化する写実作品を、どうぞ間近にご高覧ください。なお、ギャラリー2から9には写実絵画100点を常設展示しております。



森本草介《NUDE》2012年
セピア色の女性像の最新作。



安彦文平《九九鳴き浜の蘇生》2012年
東日本大震災で被害を受けたものの国の天然記念物として指定された気仙沼の砂浜を描いた。



塩谷亮《斜日》2012年
ベラルーシ人のモデル。イタリア留学の機に西洋人を描くことが増えた。



野田弘志《「崇高なるもの」OP.3》2012年
モデルは日本を代表する詩人、谷川俊太郎氏。



野田弘志《「崇高なるもの」OP.2》2012年
モデルは株式会社ホギメディカル創業者、ホキ美術館館長。



羽田 裕《サン・ジミニアーノ 初夏》2012年
世界遺産に登録された、美しい塔が並ぶフィレンツェ近郊の町、サン・ジミニアーノ。



藤原秀一《百合と猫》2012年
16年前の嵐の晩に画家の家を訪ねてきた猫を、百合と組み合わせた。



原 雅幸《マナーハウス》2012年
英国のマナー（荘園）領主の邸宅であるマナーハウスの門を、エジンバラ在住の画家が描いた。



島村信之《憧憬》2012年
黒いドレスを着こなすモデルの魅力を描く。



青木敏郎《白デルフトと染付の焼物の静物》2012年
伝統的なヨーロッパの静物画を描く。

■ 講演会のお知らせ

下記日程で、作家を招いての講演会を行います。各 15:00-16:00 11月24日は 15:00-16:30まで。

11月23日(祝・金) 野田弘志
11月24日(土) 谷川俊太郎(詩人)、野田弘志、保木将夫

2013年

2月 2日(土) 島村信之
3月 16日(土) 渡抜 亮
4月 6日(土) 塩谷 亮
5月 4日(土) 五味文彦

11月24日の講座はお申込み後抽選となります。(締め切り11月10日)
そのほかの講座はお申込み順にてお受けいたします。

場所:ホキ美術館 ギャラリー3 奥 定員:62名 聴講料:2,000円(入館料込み)

申し込み方法:

- 1) FAXでの申し込み 美術館 (FAX.043-205-1511) へ
①希望日、②氏名、③住所、④電話番号、⑤FAX番号をご記入の上、お送りください。
- 2) HPのメールフォームからの申し込み www.hoki-museum.jp のイベント欄をご覧ください。



ホキ美術館

HOKI MUSEUM

〒267-0067 千葉県緑区あすみが丘東3-15

お問い合わせ TEL. 043-205-1500

ホームページ <http://www.hoki-museum.jp>

○交通案内 東京から約70分

電車:東京駅からJR横須賀線・総武線 千葉駅乗換、あるいはJR京葉線 蘇我駅乗換、JR外房線 土気(とけ)駅 南口下車、あすみが丘プランニューモール行きバスで5分「あすみが丘東4丁目」下車すぐ お車:東金道「中野インター」より15分 有料駐車場=普通乗用車40台

